

みなみ  
南  
町  
ちよう

## 昆虫館など施設が次々

天香久山ふもとの東南に位置する当町で「市営斎場」が昭和六二年に、「檀原市昆虫館」が平成元年に、「香久山体育館」が同五年に続々と開場・開館しました。これら施設を訪れる市民とのふれ合いが多い、檀原市内でもたいへんユニークな町となっています。

江戸時代の当地は、十市郡に属して「南山村」と呼ばれました。寛文―元禄年間（一六六一―一七〇三）に「池尻村を分村した」という記録も残っています。

南山村として江戸時代を過ごしたあと明治時代に入った村は明治三二年、香久山村の「大字南山」となります。それより前の明治一五年ごろは、戸数が三一戸で人口二三人に牛二頭を飼う静かな農村（町村誌集）でした。

昭和二八年に一部農家が暖地リングの植栽を始めていますが、果実のなりが思わしくなく採算も取れなかったのか現在、町中にリングの木が見当たりません。

当地が昭和三一年九月に「桜井市大字南山」となり同年一〇月、檀原市へ編入され現在の「檀原市南山町」が誕生しています。

ちなみに江戸時代に分村された池尻村は、幾多の変遷を経て「檀原市東池尻町」となっています。